

今こそ 感染を封じ込むための積極的な対策を！

日本共産党

コロナ感染症の影響は、仕事を奪い、暮らしを圧迫しています。無症状者が感染を広げるのが新型コロナウイルスの特徴です。経済を元に戻すには、まずは感染症を抑えるために抜本的に検査数を増やすことです。しかし、市長は、「検査の必要性は理解するが、検査を増やすことは望ましく

ない」と感染症対策に積極的に取り組もうとしません。

日本共産党市議団は、検査を大阪府任せにするのではなく、市独自でも取り組むことを要望しました。また、ワクチン接種は、高齢者が安心して受けることができるように丁寧な対応を求めました。

羽曳野市の 新型コロナワクチン接種の流れについて

3つの
接種体制で
取り組みます

個別接種

各病院や診療所などの
医療機関にて実施します。
(6月から実施)

集団接種

はびきのコロセアムで
実施します。(5月25日から実施)
*接種会場へのバスの巡回を
予定しています。

巡回接種

高齢者施設に巡回し
実施します。

詳しくは、羽曳野市
ホームページを
ご覧ください→



接種までの流れ

① 接種券等を4月22日より順次発送
クーポン券(接種券)のシールは、剥がさず、
台紙ごと大切に持つておく。

② 基礎疾患を持っている方
診てもらっている医師に予防接種を受けて
よいか事前に聞く。

③ 接種の予約をする
●個別接種は希望する医療機関
●集団接種はLINEかコールセンター
●高齢者施設に入所されている方はその施設内で接種

④ 予診票に記入する(前日か当日)
診察前の体温・新型コロナワクチン接種希
望書の欄は、当日接種する前に書き入れる
ので空欄にしておく。

⑤ 接種当日の持ち物
予診票・クーポン券・本人確認書類を持参。

〈2021年4月15日、市ホームページから抜粋〉

日本共産党

日本共産党羽曳野市議員団 ご意見・ご要望をお気軽にお寄せ下さい



わたなべ
真千
羽曳が丘西5-2-18
TEL 090-9992-6899



ひろせ
公代
南恵我ノ荘3-7-2
TEL 090-9997-0218



ささい
喜世子
高麗6-8-4
TEL 090-9272-7328



若林
信一
西浦1-7-6
TEL 090-3034-1403



市民の
みなさんと
いっしょに
まちづくり

みなさんと力合わせ
願い前進!



- こども医療費助成が18歳まで拡充
- 未就学児のいる世帯の国保料の軽減
- 中学校給食は「選択制」から「全員給食」へ方針転換
- 高齢者を支援する地域包括センターの設置拡充
- 市独自のコロナ対策の継続(学校給食費の軽減など)
- スクールソーシャルワーカーの配置拡充

日本共産党は
粘り強く要望して
きました

開発型より“暮らし・福祉・教育”最優先のまちに

2021年3月市議会
日本共産党

地元中小企業を支援、少人数学級の早期実現を！

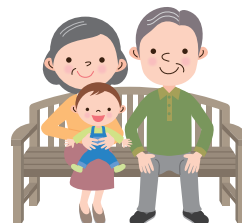


2021年度の予算では、市民税の減少を6億1800万円見込んでおり、市民の暮らしは大変となっています。しかし、新市長の予算は、都市間競争に勝つ企業誘致を目的とした開発型のまちづくりが強調されており、暮らし・福祉・教育施策が不十分なものとなっています。

日本共産党市会議員団は、国保料や介護保険料を値下げして暮らしを応援、地元の中小企業を支援し、子どもたちには少人数学級で豊かな学びを求めました。

国保料・介護保険料を下げて暮らし応援を！

新年度予算では、被保険者から集めた保険料のうち、国民健康保険は約9億円、介護保険は約5億円の基金が残っています。日本共産党はこれを使って高い保険料を下げるように要望しました。



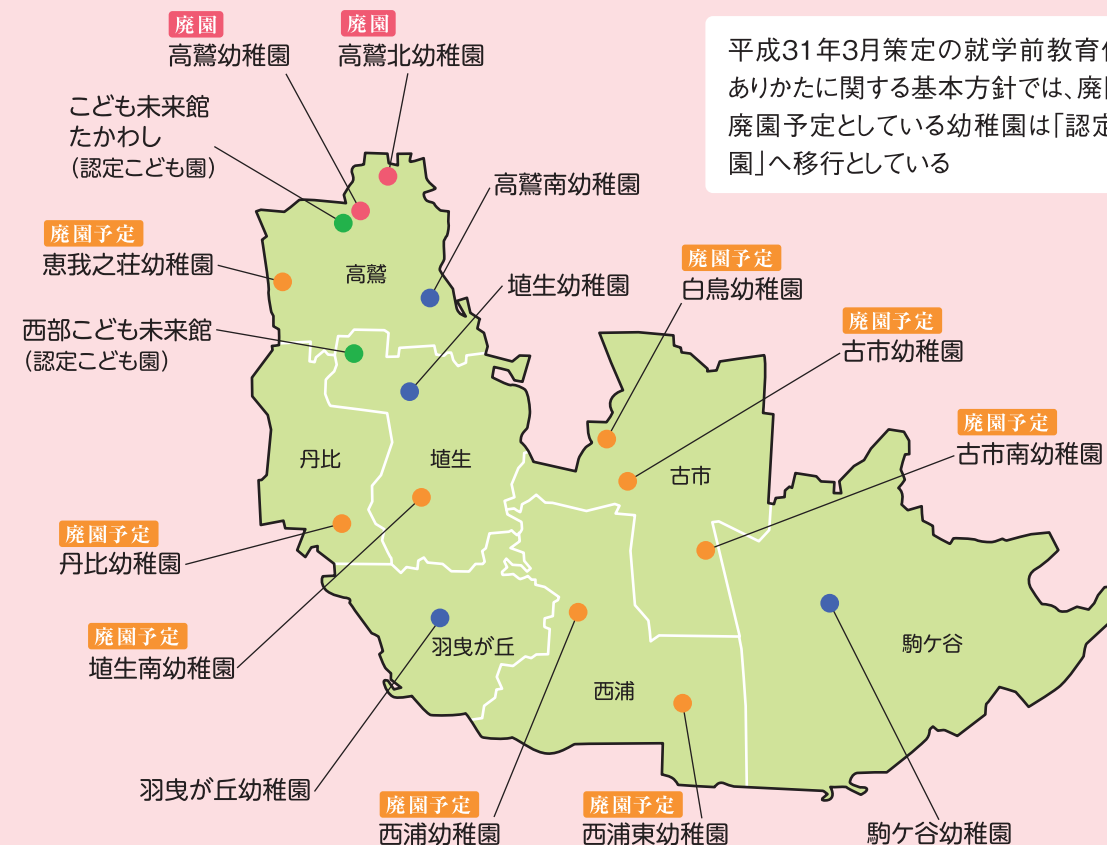
屋内から屋外に

市民プールは、1年中使える屋内プールで計画がされていました。しかし、市は、急に屋外プールに変更。日本共産党は、議会や市民の声を聞く時間も持たずに強引に事業を進める市の姿勢を改めて、市民が安心して家族で楽しめる市民プールを求めました。

市民の声が 活かされないプールに！

- 学校と共用のため短期間しか利用できない
- 好評だった幼児用のリバープールがなくなる
- 遊具プールは少人数しか利用できない

公共施設の役割は重要！ 市民が活動する地域の拠点をなくしていいのか…



平成31年3月策定の就学前教育保育のありかたに関する基本方針では、廃園及び廃園予定としている幼稚園は「認定こども園」へ移行としている

地域から幼稚園がなくなる！

羽曳野市には、これまで各小学校校区に1つの公立幼稚園があり、就学前の子どもたちや保護者の交流や子育て相談、民生委員や校区福祉委員の見守りや支援の地域の拠点となっていました。しかし、市が3歳児保育の要望に応えなかったため、入園希望者が急激に減っています。14の幼稚園の内、3歳児保育に取り組んだ4園は保育集団を維持していますが、それ以外の園児が減少している幼稚園では統合・廃園を進めようとしています。

地域の子育て拠点の役割の拡充を！

少子化がすすめば、親子が地域で孤立しやすくなるため、子育ての悩みを気軽に共有したり、子ども同士を安心して遊ばせる場所が必要です。

日本共産党は、各地域にある公立幼稚園のすべてで3歳児保育を実施し、さらに、地域の子育て支援や交流の拠点として役割を拡充するよう要望しました。

